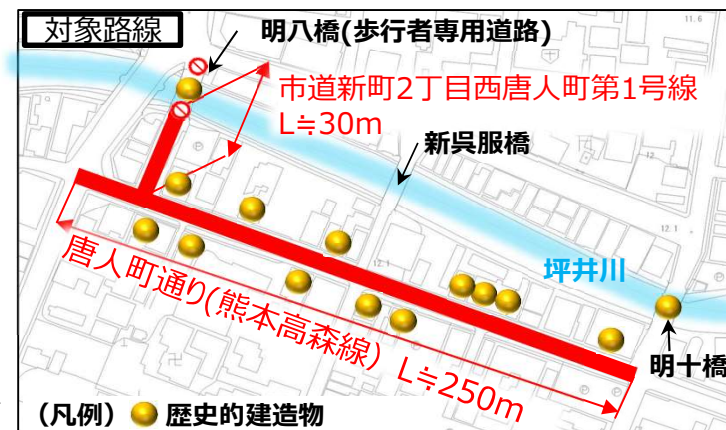


1. 歴史まちづくりの推進

唐人町通りの道路デザイン向上の取組みについて

- 「くまもと歴史まちづくり計画（R2年6月策定）」の重点区域の一つである新町・古町地区は、歴史的建造物と一体となった公民連携のまちづくりを目指している。
- なかでも、明八橋～唐人町通りは当該地区の中心に位置し、民間による歴史的建造物の利活用が図られ、歴史・文化・観光・景観の中核を成している。
- 今年度以降、新町・古町地区の歴史ある町並みの持続的な継承・成長を図るため、**当該路線を対象とし、賑わいや回遊・滞留につなげる道路デザインに見直すための整備検討**を行う。

R3年度		R4年度	R5年度以降～
測量・交通量調査	ワークショップ・道路デザイン検討等	社会実験等	工事



2. 光のマスタープランの推進

ライトスケープ・キャラバンの実施について

- 「熊本市光のMP」(R3年3月策定)に基づき、今年度以降、市民協働で魅力ある夜間景観の形成に取り組む実証実験「ライトスケープ・キャラバン」を実施することとしている。
- その第1弾として、R3.7.24白川夜市の開催に合わせ、地元のまちづくり団体である(株)白川バンクや照明メーカー等と協働し、会場周辺の河川敷のライトアップを行い、当該イベントの付加価値向上と、魅力ある夜間景観を多くの方に実感していただいた。
- 引き続き、公民連携のもと、地域のまちづくり活動に合わせ、**市内各地でライトスケープキャラバンを展開**していく。



ライトスケープキャラバン@白川夜市

3. まちなか再生プロジェクトの推進

令和2年度実績

- 中心市街地の建替えについて、10年間（※1）で100件を目標としている。令和2年度の中心市街地の店舗・事務所を含む建物の建築実績は、**まちなか再生プロジェクトを活用したものが6件、その他が5件で合計11件であった。** ※1 R2.4.1～R12.3.31

公開空地等ガイドラインの策定について

- 「まちなか再生プロジェクト」等により、生み出された公開空地等（※2）については、今まで主に通路として使っていたものに加え、**一定のルールのもと、賑わい創出等に資する使い方ができるようにしたい。**
- ※2 高度利用地区等による有効空地、総合設計制度による公開空地、総合設計同等による公開空地（高さ基準の特例承認）
- そこで、公開空地等の利用の共通ルールや手続きを定めたガイドラインを、社会実験等でのアンケートや管理者の意見を反映しながら策定し、各審議会（※3）及び議会へ説明を行い、説明後に公開する。

※3 都市計画審議会、建築審査会、景観審議会

令和3年度					
7月	8月	9月	10月	11月	12月
管理者ヒアリング	ガイドライン（案）作成		指導要綱作成		公表
			審議会・議会説明		



他都市事例